

大湯ストーンサークルの世界文化遺産登録への推薦候補選定に伴う今後の取り組みについて

問

大湯ストーンサークルの世界文化遺産登録への推薦候補地として選定され、大変喜ばしいことと思う。今後、世界文化遺産登録を実現するため、どのような取り組みを計画しているか伺う。

答

ユネスコへの推薦が各国、年1件となつたことから、今後、国の世界遺産条約関係省庁連絡会議により、文化遺産候補と自然遺産候補から、今年度のユネスコへの国内推薦1件が選定されることとなります。仮に国内推薦が決定になれば、来年2月1日までに、正式な推薦書を提出、来年9月ごろに、ユネスコの諮問機関であるイコモスによる現地調査が実施され、2020年5月ごろにイコモスによる勧告、同年夏ごろのユネスコ世界遺産委員会において審議される流れとなり、2020年の登録が果たされることとなります。

縄文遺跡群世界遺産登録

推進本部では国内推薦が決定となつた際には、世界遺産保存活用協議会を設置する予定としており、構成資産の保存活用に向けて包括的な保存管理計画を策定していくこととしております。

多発する自然災害への防災体制への取り組みについて

問

八幡平大里、花輪久保田浅利佐助商店前の2地点で市道の崩落、通行止めの状況である。復旧対応を急ぐべきと考えるがどのように対処しているか伺う。

答

大里地区については既に河川管理者である県が河川工事の発注を行っております。

また、花輪久保田地区につきましましては、国の災害査定を受けた後に、県が復旧工事を実施する予定であります。本路線は交通量が多いことから、県に対して早期復旧を強く要望してまいります。

質問した項目

■農業振興と地域活性化への取り組みについて ■大湯ストーンサークルの世界文化遺産登録への推薦候補選定に伴う今後の取り組みについて ■多発する自然災害への防災体制の取り組みについて ■花輪稲村橋から八幡平川部橋間の健康ロードの環境整備について



黒澤 一夫 議員

（鹿真会・公明）

田中 孝一 議員

（清風会）



質問した項目

■市の政策について ■災害、防災対策について ■地域安全対策について ■児童虐待について ■自治会主催の敬老会開催支援について

市の政策について

問

毎年市民アンケートの実施結果が出されているが、効果が得られていると感じるもの、もっと力を入れて欲しいと感じるものとして、上位5項目がある。アンケート結果をどのように認識し、政策として今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

答

市民が取り組みの強化を望んでいる施策は、「地域医療体制の充実」が最も多く、産婦人科の集約を不安に思う意見が多く寄せられたことは、現在高い評価を得ている子育て支援策にも影響する重要な課題だと認識しております。

また、2番目以降には「雇用の安定」、「商店街の活性化」、「学校教育の推進」、「観光の振興」が続いており、重点プロジェクトにより解決しようとしている課題に対し、依然として取組強化を求める声が高いという状況を踏まえると、大胆な施策展開や個々の課題に対応できる事業構成の見直しも検討する必要があります。

空き家の適正管理について

問

あつて、環境美化へ影響を及ぼし、地域の住民に危険が伴う空き家が増加している現状にあるが、当市の現在の状況と、今後の対策をどのように考えているのか伺う。

答

平成29年度末時点では、市が把握している空き家は851件、そのうち老朽化が著しく危険な空き家は390件となっており、空き家等対策を総合的かつ計画的に進めるため、昨年度に空き家等対策協議会を設置し、空き家等対策計画を策定したところであります。今年度は空き家実態調査を実施し、危険性の高い建物については、所有者に対し適正管理を促すとともに、危険老朽空き家除却費補助金制度を周知してまいります。また、特に危険老朽度が高く、周辺に対して悪影響を及ぼしかねない空き家については、空き家等対策協議会において特定空き家と認定した上で、法のつとり指導、勧告、命令と段階的に強制力を高め、適切に対応してまいります。